



消防出初式



12月定例会/目次

議会の動き	委員会報告	一般質問	12月定例会	議長挨拶
14	11 ~ 13	4 ~ 10	3	2

おおさきかみじま 議会だより

第19号/2008年2月1日

大崎上島町議会

☎ (0846) 6 5 - 3 1 3 0 (直通)

FAX(0846) 6 5 - 3 1 1 7

〒725-0231 広島県豊田郡大崎上島町東野6625-1

E-mail:gikai @town.osakikamijima.hiroshima.jp

新年のごあいさつ

大崎上島町議会

議長 西田 巧



新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さんご家族おそろいでよいお正月を迎えられたこととお慶び申し上げます。

日本の経済も波乱の幕あけとなり、前半は横這い、後半はやや上昇と予想され、国会も衆参両院のねじれ現象をきたし、国民生活に大きな不安をもたらしている現状はご承知のとおりです。こうした中であって地方分権が急速に進むことに伴い過疎、離島、中山間地域にとって、財政運営は一層の厳しさが訪れることは必然的であろう。こうした中であって町民ひとり一人が今日の現状を十分に認識していただき、町民一丸となって自主自立の心を持ってこの難局を乗り越えていかなければなりません。私たち議員も町民の先頭に立った政治を行い、理想の産業構造改革のため調査研究を重ね、希望の光が見出せるよう

に議会活動を精力的に行っていきたいと思っています。笑顔をたやさない、楽しく安心して暮らせる町づくりのための課題解決のため鋭意努力してまいります。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げますと共に、一人でも多く議会傍聴に積極的に参加していただき、真の議会政治にご理解をいただきますようお願いいたします。

結びに、町民皆様の今後のますますのご壮健とご多幸をお祈り申しあげ年頭のご挨拶といたします。



12月定例議会

平成19年度12月定例議会は12月18日から12月25日までの会期で開催しました。

12月定例議会で決まった主なこと

一般会計補正予算

4百46万円を追加

特別会計補正予算

(国民健康保険事業ほか6事業)

2千3百87万円を追加

18年度一般会計・特別会計を認定

○竹原広域行政組合規約の改正

竹原広域行政組合の通信指令機器の老朽化による更新の対応と、東広島、竹原、大崎上島地域のこれからの消防行政運営全般について、今後のあり方の調査研究した結果により、消防業務を東広島市へ委託するための改正

○人権擁護委員の推薦

岡田 康子 氏 大崎上島町原田695番地7
(任期 平成20年4月1日～平成23年3月31日)

一般質問

町政を問う

問 肝炎検査の啓発・公報活動について

答 老人保健法で肝炎検診をしています



信谷 俊樹 議員

質問（信谷議員）

感染の早期発見が基本のC型肝炎ウイルス検査を農業・自営業者を対象として実施する事となっていたが啓発・公報活動をしたのか

①平成14年～18年の実施検診はどうしたのか。

②受検者数は何人か。

③感染者に対してどのような対応をしているのか。

④自治体が委託した医療機関で検査を実施した場合に無料になるのか。

⑤命に関わる事なのでどのように関与していくのか。

答弁（保健衛生課長）

①希望される方には実費負担の上、検査が行われます。申請書は個人情報保護の為、役場窓口に持参するようにしています。

②受検者は旧大崎町70名、旧東野町15名、旧木江町60名でした。

③肝炎検診の実施要項に基づき肝炎の専門医への受診の奨励、ウイルス感染者に対しては肝炎手帳の配布をしています。

④国の財源が決定していないが、具体的に決まれば進めていきます。

⑤町の検診事業は予防が中心です。感染者には専門医への受診の奨励とともに、治療を受けるように勧めています。

問 不必要な事業の見直しをすべきでは

答 事業執行については見直しもあります

質問（信谷議員）

交付金が減少していく中で不必要な事業の見直しをして、生活道路や改修工事（補修工事・部分設置）などの方が必要だと考えますか。

答弁（町長）

限られた財源で事業執行していく中で、指摘の視点、考え方で進めていきます。

問 能力・実力主義にすべきでは

答 役割を重視した人員配置をします

質問（信谷議員）

町長の方針に従わない職員とか、やる気の無い職員に対して進退を含め進言すべきではないか。

また次年度から企業会計が一般会計と合算されるみたいですが、今後の町財政を進めていくには年功序列ではなく能力・実力主義にすべきでは。

答弁（町長）

基本的には役割を重視した人員配置をして、職員同士が補完できる行政体制を進めていきます。行政間においても地方分権の中、競争原理を働かせて自主自立を進むとすれば能力・実力主義を含めて進めていく必要があります。

問 町有地の売却は

積極的に進めていきます



まつばら しげる 議員
松原 茂

質問（松原議員）

学校などの跡地について
は利活用検討委員会で協議
する事ですが、若者定住な
ど推進のために有効活用が
できる町有地が各地にあり
ます。本年度また平成20年
度で宅地として払い下げて
もよいと判断している箇所
あるいは計画がありますか。
また、合併後に払い下げた
土地は何㎡、何坪、金額は
いくらになっていますか。

答弁（町長）

旧高田酒造の跡地、沖浦
の住宅施設用地の区画整理
をし分譲を計画しています。
大串地区の浜谷は、泥を入
れてまだ日にちが経過して
ないので、地盤沈下をみて
進めます。売却は、33件、
5572㎡、7千万円余り
です。

再質問（松原議員）

私はむしろ、3箇所でも
5箇所でも増して頂きたい。
買う方にも選ぶ権利が
あると思います。

福岡池の跡地でも12区画
ぐらいとれます。そうした
土地は活かして頂きたい。

再答弁（町長）

財産を取得された方は定
住に結びつくので、積極的
に進めたい。

問 陳情書への対応は

必要最小限の維持管理で対応します

質問（松原議員）

上組トンネルは昭和5年
当時、住民の寄附や労務提
供などの無償提供により完
成して77年になり、老朽化
が進んでいます。平成18年
5月1日付で、町道大久保
線の上組トンネルの早期改
良について、地元30名の署
名を添えて町長あてに陳情
書を出している件について、
どのように回答しているの
か。

答弁（町長）

要望書が出されています。
しかし、新町になって、そ
れぞれの道路に対する補助
が縮小され、現在計上され
た事業の継続、重要路線と
して位置づけられた整備を
行っているのが実情で、質
問の道路については合併建
設計画および過疎地域振興
計画に計上してないので財
源が非常に難しい状態です。

問 町道丸山～船隠線の改良は

部分的な拡幅を考えています

質問（松原議員）

以前から、拡張計画があ
りましたが進んでおりませ
ん。幅員が狭く、危険です。
通学路でもあります。現在、
休耕田があるので、地権者
の協力を得て、全線は無理

答弁（町長）

合併建設計画の中で、平
成21年以降で整備する計画

再質問（松原議員）

地元の人は崩落なども心
配しているので、調査をし
て悪いところは補強工事な
ど手を打つ必要があるの
ではないか。

再答弁（町長）

災害が起きるのを待つ
のではなく、必要最小限の
ものについては維持管理上、
取り組んでいきます。



町道丸山～船隠線

を立てておりますが、国費
の確保が非常に難しい状態
であります。全面改良は難
しいかもしれませんが、皆
さん方の理解が得られれば
部分的な拡幅ということに
ついては進めるべきと考え
ています。

問 原下新開の産廃施設への指導は

〔答〕 早期に周辺住民への説明会を行うよう要請



なかむら しゅうじ 議員 中村 修司

質問（中村議員）

原下新開の生コン工場跡地に産廃処理に係わる施設が設置されているようですが、周辺住民から生活環境の破壊につながるのではとの不安も出ています。

実施されようとしている事業内容の把握と、安全対策の内容などについて確認のうえ、住民説明会の実施などについて指導すべきでは。

答弁（保健衛生課長）

現地確認の結果、廃家電4品目の倉庫利用と、産業廃棄物の積み替え保管施設

として計画中の事です。

計画案が具体化した時点で、周辺3地区への住民説明会を実施する予定となっています。

再質問（中村議員）

産廃施設設置については、町に許可権限はないと認識していますが、町として



消防車

どこまで指導できると判断しているか。

今後、独自の町条例制定も含めた取り組みも必要と思われるが。

再答弁（町長）

県の許可が必要となりますので、町は随行しての指導となります。

島地域という実情の中で、一定のルール作りは必要と考えていますが、当面は相手方との協議を進めていきます。

問 竹原広域行政の今後は

〔答〕 さらになる広域連携が必要となります

質問（中村議員）

消防業務は、すでに事務委託へと進んでおり、ゴミ焼却場は10年後をめどに、東広島市に建設予定の焼却場での共同処理が計画されています。

これまでは、竹原広域行政の中で、地域事情に配慮しながら事業展開が図られ



クリーンセンター



環境センター

事務委託へと進んでいくと考えられます。

その中で、最も大切なことは、これまで積み上げてきた地域性や特異性への対応を、どう継承させていくかということです。

今後、どう枠組みが変化しても、島としての自主自立を柱として、各行政機関と調整を進めて行きたい。

再質問（中村議員）

なし崩し的に広域連携が進められていくと、町の自立は可能性を奪われる事となります。現在の協議の中で、将来にわたって町の要望が取り入れられる体制の構築については、強い姿勢で臨むべきだと思いますが。

再答弁（町長）

消防の事務委託では、我を通し、分署が署となります。

今後も最大限の努力を継続します。

答弁（町長）

現在、竹原広域で一部事務組合方式を取っています。が、今後、広域連合または

問 新規就農・就漁に独自支援を

〔答〕 地域プロジェクト計画推進で



辰田 眞司 議員

〔質問（辰田議員）〕

農・漁業の事業に対して国・県の方針が変わり、新規就業者に対し資金助成がなくなっています。特に農・漁業は一定の技術習得または一定の基盤が整うまで収入のめどが立ちません。本町の農・漁業を考えれば新規就業者確保には、本町独自の支援事業を行うべきと考えますが、町長の考えを伺います。

〔答弁（町長）〕

非常に厳しい状況であると考えています。現在原田地区で、柑橘産地で一号の

農事組合法人の発足を見たところですが、やはり後継者育成と農地の流動化がセツトなので機能しにくいのも事実です。地域プロジェクト計画の中で各種制度の活用を考へて行きたいと思っています。

〔再質問（辰田議員）〕

低年齢就業者に対し、学生に対し実施している奨学金のような貸し付け事業の実施はできないか。

〔再答弁（町長）〕

何らかの仕組みが考えられないかという事は、絶えず考えています。地域プロジェクトの恩典の中、就農研修資金助成事業、中山間地域直接支払事業制度等を含め、上島農業振興協議会等各種団体と協議を進めたと思っています。

問 小学校統合の諸課題は

〔答〕 開校準備委員会で

〔質問（辰田議員）〕

教育関係者、保護者のご努力、ご協力により来年3月統合に向け協議を重ねられていると思いますが、諸課題はすべて解決しているのか現状を伺います。

〔答弁（教育長）〕

中野小・西野小統合については、開校準備委員会を設置し諸課題の解決にむけ議論をしています。校章は決定、校歌については近々決定いただけると思います。

問 財政の立て直しは

〔答〕 償還元金以下で運用を



濱中 国雄 議員

〔質問（濱中議員）〕

財政が厳しいと言われているようですが、どのように立て直していくのか。

〔答弁（町長）〕

町の裁量で歳入を増やす手立てとして、使用料、手数料というものがあります。さらに住民負担を増やしていくということは今は考えません。新町建設計画で位置づけられている事業であっても、先送りをして見直しをしたりして歳出の削減を図っております。今の統合中学校の建設が平成21年度に終了します。

各学年で合同授業を実施し、ならし授業も行っています。学校運営は、両校教職員で論議をしています。通学問題は、教育委員会の提案では保護者の理解は得られない状況であると考えています。保護者の皆さんとよく話し合った上で決定したいと考えています。



中野小学校

今後大きな建設投資としては、火葬場がありますが中学校の統合と比べれば金額的にも若干下回るということもあり21年度以降には借入金償還元金以下とします。

問 下水道の加入状況と工事の見直しは

〔答〕 加入促進と工事の見直しを図ります



あかまつ よしお 議員 赤松 良雄

〔質問（赤松議員）〕

中野・西野・沖浦の3地域で下水道の工事や水洗化が進んでいます。昨年度末の対象個数（工事済）、加入数並びに使用料や経費の一部（償還金は除く）を下

表で示しています。下水道に加入しない家庭は、枘工事を行わないなど工事の一部見直しや加入促進の広報活動はしているが、家庭での改造工事は約100万円かかり、高齢者の方は改修しないと言っており、加入増はあまり見込まれません。家屋改造工事に関し利子補給制度はあるが利用

単位：万円

	公共下水道	農業集落	漁業集落
対象戸数	539	237	432
加入数	244	123	118
加入数％	45.2	51.3	27.3
使用料	1,521	577	562
施設管理費	1,664	1,091	1,399

されてません。当初の全計画を進めると、公共下水道は2期工事として汚水処理センターを増築しなければなりません。左表を見ると収支バランスが大変な状況になっています。これからの町財政を考えると下水道工事見直しと合併槽への検討は。工事見直しを含めた収支を議会に提出を。

〔答弁（町長）〕

人口減もあり下水道は表の通りですが、加入促進と公共下水道工事の見直しも必要であり、合併槽への変更を検討していきます。収支については提出します。

問 橋などの点検は

〔答〕 今年度と来年度で点検します

〔質問（赤松議員）〕

橋の寿命は50年がメドとされる。

全国1787市町村にアンケート（回答率98・7％）した。その結果、全市町村の約27％に当たる479市町村が「土木技術者0人」で、橋の鋼材の腐食状況や亀裂などを調べる定期点検は約9割が実施していません。主な理由は「専門的な技術力がない」（約65％）や「財政難」（約62％）。橋1本当たりの年間の維持・修繕費は、村2万円、町7万円、市8万円。都道

府県の69万円、政令指定都市の81万円と比べ著しく少なかったとの報道がありました。

町は何を点検していたのか。また補修についてどのように考えているのか。

〔答弁（町長）〕

橋の点検は必要で町内15m以上の橋4箇所は目視点検しました。町内にある橋99箇所は来年度点検します。

〔質問（赤松議員）〕

補修予算はいつしているのか。橋の調査の指示があれば橋しか調査しないが、長島大橋やトンネル・落石防止・学校や遊具など町内のあらゆるものを点検すべきでは。

〔答弁（建設課長）〕

調査や補修費は計上していません。トンネルは点検しました。

〔答弁（町長）〕

技術的指導を受け調査点検します。

問 一般質問の回答は

〔答〕 説明不足でした

〔質問（赤松議員）〕

私は今まで何度も一般質問をしてきましたが、その都度きちっと調査回答をするように言っています。9月議会で地震速報の実施の質問をしたが、調査しておらず、議長より10月に委員会への回答指示だったが、委員会には報告がない。他の案件でも同僚議員から回答がない場合があるとの声があるが。議会で言ったことは守るべきでは。

〔答弁（町長）〕

その都度回答をしています。無かったと感じたら見解にずれがあったのでは。

〔答弁（総務課長）〕

10月議員に口頭で若干説明したが説明不足でした。次期委員会で検討したことを説明します。

問 鮎崎港の活用について

答 要望します



わたなべ としのり 渡辺 年範 議員

質問（渡辺議員）

東野の鮎崎港が改修され、待望のトイレ付待合室と駐車場が完備されることになる。しかし、残念ながら長ー竹原間の高速艇は、利用客の減少、燃料高などで減便され、竹原の病院に通っている木江、明石方面の町民が大変不便な思いをしているのが現状である。竹原港より高速艇で10分足らずの距離にある鮎崎港はもっと活用されるべきで、船会社に対して現在の便に加え、竹原ー鮎崎間の往復の増便を依頼して、島内においては乙姫バスで対応す

るのも一つの方法だと思うが、行政の考えを問う。

答弁（企画課長）

現状の航路を維持し、それ以上に利便性の高い航路となるよう議会の交通特別対策委員会や交通問題協議会で協議して、船会社の方に要望します。

問 エビ養殖場の埋め立て経緯は

答 方針を模索中です

質問（渡辺議員）

9月定例議会以降の経過報告を求める。

答弁（企画課長）

地主（東中国菱重興産）が来町され、エビ養殖場の活用については「具体的な方針は決まっていないが、国、県の支援制度があれば検討して、町とも協議する」との説明がありました。

問 消火栓の点検活用は

答 協力を得て実施しています



ふじわら たつひで 藤原 龍秀 議員

質問（藤原議員）

消火栓は初期消火の要です。消火栓の点検修理並びに消火栓ボックス内のホースの交換などはどうしているか。また、地域の方にも使用方法を知ってもらえるようにしたらどうか。

答弁（総務課長）

消火栓の点検修理は大崎上島消防署が主要場所の点検を行い報告を受けておりますし、消防団や地域で利用された時に不備の報告を受けています。今後も、ホース交換など不備がないよう対処します。

問 中学校統合後の教育内容は

答 学校指導要領で決まります

質問（藤原議員）

現在中学校の統合に向けて準備中だと思うが、学校の教育内容についてどこまで協議されているのか。また、総合的な学習は各校で内容が違うがどう調整するのか。クラブ活動は現在のクラブを調整するのか。

答弁（教育長）

新しい学習指導要領が来

消火栓の利用は、毎年春の全国火災予防運動の一環として、各区長に防災教室の開催を呼びかけ、消防署・消防団の協力を得て、消火器・消火栓の使い方の講習会を実施しています。実施されていない区もありますので、周知徹底します。



年3月に告示される予定です。その内容は、授業実数が増える流れがあります。また、総合的な学習の時間は厳しい状況になっています。教育内容は、この新しい学習指導要領に基づいて協議していくことになりま

す。クラブ活動については、当面すべてのクラブを継続していくつもりです。



鮎崎港旅客待合所起工式

問 光ファイバー普及への取り組みは

答 課長会議でお願いしています



たにもと まさし 議員 谷本 昌

質問（谷本議員）

現在光ファイバーの加入キャンペーン中であるが、町をあげて光ファイバーの普及に努めるのであれば、

問 町長の出張報告は

答 公表しません

質問（谷本議員）

町民から「町のホームページを見ると町長は随分出張しているようだが、時にはどのような会合に参加し何を答えたかの報告をすべき」との意見がある。

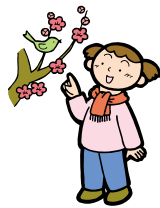
全く同感だと思う。全部

まず職員の参加を呼びかけるべきと思うが。

- 1 職員の加入率は
- 2 職員によるパソコン教室の開設は

答弁（町長）

職員の加入率は50%は超えていると思います。加入については、お願いはするがそれぞれの判断に任せます。パソコン教室については検討します。



とは言わないまでも、必要に応じて報告すべきと思うがどうか。

答弁（町長）

提案なので考えてみますが、今のところ公表する気持ちは持っていません。

問 広報に町の動きの掲載を

答 現在でも十分掲載しています

質問（谷本議員）

町の動きがどんな状態なのか知りたいという声を町民から良く聞く。

町の運営には町民の協力が欠かせない。そのために町行政の透明化が欠かせない。年に一度、当初予算が決まったときに公表される（それ以外に町の動きが記事になることはほとんどない）が、これに加えて、広報を利用し、各課の予算の執行状況、考えなど町の動きを町民に知らすべきと思うがどうか。

答弁（町長）

現在の広報で十分だと考えています。それ以上に知りたいときは直接係りに聞いてもらえばいいと思います。

問 島を取り巻く交通環境どう取り組む

答 運動はしているがなかなか難しい

質問（谷本議員）

島を取り巻く交通環境についていままでのように業者主導で行っていると、値上げ、減便、廃止の繰り返しが続く。島の海上輸送コストが島民の生活、経済基

答弁（町長）

民間業者には経営の問題があつてなかなか難しい。島の問題は大崎上島だけの問題ではない。離島として同じような環境の自治体と連携して運動しています。

問 町有地もお金としての認識を持つべきだ

答 取り組みます

質問（谷本議員）

庁舎横の町有地は、一部放任状態で雑草が生い茂り、一部はついこの間まで業者の工事用車両、資材置き場となっていた。

賃貸料はどうなっているか。このような町有地が随所に見られるが、これでもいいのか。

早急にきっちり管理すべきである。

答弁（町長）

空き地の工事関係での利用については、土地評価額の1000分の3・3の使用料で貸しています。

ただし、町関係の公共事業には申し出によって使用料を取っていません。町有地の管理にはきっちり取り組みます。

総務福祉文教常任委員会報告

委員長：中村修司 副委員長：福増 進
委員：濱中国雄 藤原龍秀 土井田聖次
赤松良雄 谷本 昌 渡辺年範

07年10月から12月にかけて行われた委員会の調査内容および協議事項についてお知らせします。

◆島内救急搬送の時間短縮にむけて

救急艇の更新に伴い、救急医療の充実も図らなければなりません。大崎上島消防署長から、現状の問題点について説明を受け、今後の取り組み課題を議論しました。

病院の受け入れ態勢の变化もあり、ヘリコプター搬送の件数が減少している問題や、夜間の救急搬送の時間短縮が大きな課題となっています。

今後、ドクターヘリの体制強化や、地元医師と行政の協議、救急救命士の判断による直接搬送などに取り組み、医療の安心を高めることが急務です。

◆事業系ゴミの有料化について

家庭系ゴミについては、すでに指定袋が導入され有料

化されていますが、事業系ゴミは有料化となっていないでした。

このたび、竹原広域行政内で足並みをそろえ、10kg 70円で実施する案が示され、議論されました。

有料化は慎重にとの意見や、周知期間を十分取るべきなどの意見が出されました。

委員会では、家庭系ゴミが有料である以上、同等の負担が適当との意見が大多数でした。定例議会・広域議会で承認され、7月から有料化となります。

◆東広島市への消防業務の委託は是非か

2年後の21年度から、消防業務をこれまでの竹原広域行政から、東広島市への事務委託とする案が提案され議論しました。

国の方針により、これまでの竹原広域の体制では、施設・設備の更新の際、補助金が認められないことが大きな理由です。

案の内容が、竹原消防署

の大崎上島分署となっている点と、地元の意見・要望が提案できる体制が明確となっていないことに大きな疑問と反対意見が集中しました。

その後、分署ではなく大崎上島消防署とすることと、協議会を設置することが確認されています。

協議会の設置内容については、最終決定ぎりぎりまで議論を継続することとしています。

◆町有財産活用検討委員会を設置

町内に多くの町有地が空き地となっていることや、合併によって、遊休施設が生まれていることから、議会として検討委員会の設置を求めています。具体的設置案が提案されました。副町長と各課長、議会代表2名で構成され、必要に応じて関係者を入れて、利活用の検討が進められることとなっています。

今後、統合による学校施設再利用の検討も急務です。

◆その他

おと姫バスに積み残しが頻発していることから、26人乗りマイクロバス導入についての協議や、西野小学校統合による通学バスの形態についての議論、木江警察署廃止に係わる再要望書の検討などを主な議題として、委員会を実施してきました。

今後、3月の予算議会に向けてさらに積極的な委員会活動を進めていく予定としています。

その他の課題、補正予算・意見書の協議内容については省略します。
以上報告とします。



救急艇

産業建設常任委員会報告

委員長：信谷俊樹 副委員長：辰田真司
委員：蒔田篤雄 熊佐尊徳 松原 茂
浜田明利 増本 真 西田 巧

委員会では、建設課・農林水産課・上下水道課・商工観光課などと11月14日と12月12日に12月定例議会までの懸案事項と新規事業、現執行中事業、新規入札状況などの説明を受け問題点の協議検討をしました。

◆建設課

大崎上島アクセス快適化計画（みなと振興計画）・大串大西線改良事業・沖浦本郷線改良事業・明石方原田線改良事業・町道犬ヶ浜線などの事業説明を受け協議検討しました。また、住宅使用料の分割納付の誓約書・保証人の確保（滞納者が保証人になっている）長期悪質滞納者に対する住宅明け渡しの実施などを実行するように提言しました。

◆農林水産課

小規模農業基盤整備事業・古江農道整備工事・権現山林道整備事業・地籍調査事業・農事組合法人の今後の展望と要望について・入札参加資格について・中

山間地域総合整備事業・森づくり事業などの現状と進捗状況の説明を受け協議検討しました。

◆上下水道課

上下水道、下水道事業の新規事業、現残事業・工事中の説明を受け適切に推移しているか・地元との協議はうまくいっているのかどうか・下水道事業の加入率について・補助申請時に単独分も含めて入札できないか・濃縮汚泥の処分について・合併浄化槽の設置について・企業に対する下水道加入問題についてなどの報告を聞き協議検討提言をしました。

◆商工観光課

大串キャンプ・生野島のキャンピングの使用状況・定住促進対策・法改正で交流定住委員会の設置・大崎上島町空き家バンク制度要綱・土地建物、住宅取引などについては広島県宅地建物取引業者に依頼する・自然休養村の売却問題などについて報告を聞き協議検討提言しました。

意見書採択

◆割賦販売法改正に関する意見書

クレジット契約は、高額かつ深刻な被害を引き起こす危険な道具にもなることがある。クレジット会社の責任においてクレジット被害の防止と取引適正化を実現すること。

◆助産所の存続を求める意見書

助産所の開設者が嘱託する医師と病院を定める規定が強化され、助産所は、新たな開業はもとより存続さえ困難になります。安心して出産できる助産所を維持すること。

◆沖縄戦「集団自決」に関する教科書検定に対する意見書

沖縄戦の実相を歪め、歴史を改ざんする高校日本史教科書検定行為は、沖縄戦の反省と教訓を否定するばかりか、日本国民の平和への思いを踏みにじる行為であり、容認できるものではない。沖縄戦実相の記述復活をすること。

◆原爆症認定問題の早期解決を求める意見書

原爆の放射線が原因と思われる多重がんなどの重篤な疾病と闘いながら、不安な日々を送っている被爆者に対する原爆症認定問題の早期解決をすること。



決算特別委員会報告

委員長：赤松良雄 副委員長：土井田聖次

委員：福増 進 蒔田篤雄

増本 真 浜田明利

大崎上島町議会決算特別委員会では2006年（平成18年）度大崎上島町一般会計及び国民健康保険事業特別会計など11特別会計の財産状況などの審議がされ、全員が賛成しました。

地方交付税は前年度と変わりないものの、自主財源である町税は前年度に比べ「6466万円」減となり、歳出では人件費は職員の退職等により減となっています。小学校など建設による公債費が1億5762万円増、普通建設事業は国や県の工事抑制で7億1099万円の大幅減となりました。町債は2億増となり、いずれの財務比率もますます厳しい財政構造となっています。財政の健全化に向けた努力をしなければなりません。



◆税金や使用料の滞納

ある市では市長自ら徴収に出かけています。本町に町全体で徴収する体制をするため行動計画と実行をお願いすること。

◆設計の外部委託と自主設計

委員会での指摘については改善がみられるが、経費の削減、管理面での人材育成、人員配置をすること。

◆町のホームページについて

一般質問で議会から指摘があり改善もみられますが、各課が親しみと同時に新しい情報発信のために改善をすること。



◆健康診断について

検診場所が少なくなっているが、町民に検診の重要性をさらに訴え早期発見早期治療をする努力をすること。

◆町有財産、債権について

会計処理を適正にするとともにその他あらゆる財産に関し確認すること。

要望書採択



◆木江警察署の存続に係わる再要望書

木江警察存続署名活動は、約4000名の住民署名とともに、広島県知事・広島県議会議長・広島県警察本部長に対し、存続の要望書を提出したが、回答は本署を分署とすること、人員増員要望は変更せず、大崎駐在所は2名体制にするだけものです。

結論

以上全般に見るとおおむね妥当と思われます。ただし、新たな町税使用料の滞納者を作らないために努力をするとともに火葬場の管理運営・職員による自主設計など、毎年指摘している事項については早急に改善すること。今回指摘した財産について法令に基づく処理を行なうこととする。

議会では再度存続の要望を出します。



議会の動き

10月1日から
12月31日までの議会の日程です

10月

3日 大久野島毒ガス障害死没者慰霊式

9日 広島県町議会議員研修会（広島市）

12日 広報委員会

13日 大崎地区高齢者スポーツ大会

14日 三原市芸術文化センター開館記念式典（三原市）

15日 広島中央広域行政組合常任委員会（東広島市）

決算特別委員会

19日 木江地区造船海運振興協議会海事講演会

21日 健康福祉まつり

24日 決算特別委員会

30日 総務福祉文教常任委員会

31日 海上防災対策訓練

11月

2～3日

武蔵野市60周年記念式典

5日 竹原広域行政組合臨時会（竹原市）

8日 大崎上島町産業祭実行委員会

9日 決算特別委員会

13日 大崎上島町ランドゴルフ大会

14日 総務福祉文教常任委員会

産業建設常任委員会

12月

全員協議会

決算特別委員会

15日 広島中央広域行政組合議会定例会及び

16日 全員協議会（東広島市）

18日 大崎海星高等学校創立10周年記念式典

26日 救急艇進水式（尾道市）

27日 事務局長等定例研修会（広島市）

28日 地方分権改革推進特別委員会現地調査（東広島市）

決算特別委員会

29日 定例議長会議及び知事との行政懇談会（広島市）

第26回離島振興市町村議会議長会

全国大会（東京都）

議会運営委員会

30日 第51回町村議会議長全国大会（東京都）

広島県後期高齢者医療広域連合議長

定例会（広島市）

大崎上島環境センター環境保全委員会

総務福祉文教常任委員会

7日 東野中学校創立60周年記念式典

9日 竹原広域行政組合常任委員会（竹原市）

議会運営委員会

10日 産業建設常任委員会

11日

12日

産業建設常任委員会

15日 農事組合法人設立総会

17日 総務福祉文教常任委員会

18日 12月定例会第1日目

19日 全員協議会

12月定例会第2日目

大串干拓地開発調査特別委員会

26日 竹原広域行政組合定例会（竹原市）

消防団年末警戒

編集後記



平成20年、穏やかに歳が明けた。風揚げ、かるた、

双六、羽根突き、昔の正月風情は薄らいた。雪、氷、つらら、冬の風情も同じだ。出初式の朝、屋根や畑一面の霜景色を見た。冬の風情を感じた。

テレビに原油資源を持つドバイの街が映された。砂漠の中の人工リゾート地に高級別荘が立ち並ぶ。東京タワーの2倍以上もある高層ビル群。建設ラッシュである。おもわず「化城」「バベルの塔」を連想した。

そこに住む資産家

階級の無駄な贅沢、

出稼ぎ外国人労働者

の低賃金。18世紀の

産業革命で始まった

格差社会。この風情

だけは変わらないの

か。

